

特集 輝く第2の人生 ～シルバー人材センターで生きがい創出～

☎ 長寿介護課高齢者支援班 ☎22-9133



特技を生かして剪定作業を担当しています。



公共施設管理業務など会員の派遣業務も行っています。



襖の張り替えは、入会後に先輩会員に習いました。



松浦史料博物館は女性6人が輪番で清掃しています。



週2回半日程度オランダ商館の清掃をしています。



平 戸市シルバー人材センターでは、次のような仕事の依頼を受付けています。会員登録をご希望の人や、作業のご依頼は、平戸市シルバー人材センターまで、お気軽にご連絡ください。

- 植木の剪定
- 除草作業
- 農作業
- 訪問型サービス(掃除、買い物、ゴミ出しなど)
- 襖・障子張り
- 清掃作業
- 施設管理・窓口受付

高齢者の生きがいの創出

少子高齢化が進み、高齢者のより一層の活躍が期待されている中で、植木の剪定や草刈り、農作業、襖・障子の張替え、施設管理など幅広い業務を請け負うシルバー人材センターは、定年などで現役を引退した後でも、働き続けたいと希望する高齢者の就業ニーズに応え、能力に応じた仕事の機会を確保するために設立されました。

シルバー人材センターは、高齢者の「働きたい」という意欲を応援し、長年培ってきた知識や技能・経験を生かせる業務を提供します。

また、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と地域社会の活性化を目指し活動しています。

4つの理念

シルバー人材センターは、会員一人ひとりが自ら運営に参加し、互いに協力し、仕事を分かち合い、共に助け合いながら働く会員組織であり、「自主・自立・共働・共助」の理念を基本としています。

業務の流れ

平戸市シルバー人材センターは、令和4年度末時点で、238人の会員が登録しており、希望する職種別の班に分かれて活動しています。

会員は、シルバー人材センターが受注した仕事を請負、委任または派遣の形態で引き受けます。

請負または委任の場合には、仕事を完成・遂行し、配分金(報酬)を受け取ります。派遣の場合には、シルバー人材センターと雇用関係が発生しますので賃金として受け取る仕組みになっています。

幅広い業務内容

平戸市シルバー人材センターでは、年間1,900件を超える業務を受注しています。業務内容は、草刈り、農作業、襖・障子の張替え、施設の管理など幅広く行っています。

また、市と連携し「ワンコインまごころサービス」や「平戸市訪問型サービスB」なども行っています。建設工事現場での作業など高齢者にとって危険な業務は受注できませんが、どのような仕事でも相談に応じます。

身の回りのちょっとした困りごとをお助け

平戸市訪問型サービスB ワンコインまごころサービス

平戸市訪問型サービスB

このサービスは、在宅の高齢者などで、日常生活を営むのに支障がある人に対し、軽易な日常生活上の支援を行うサービスです。

利用できる人は、介護保険法に定める要支援1、要支援2または基本チェックリストで生活機能が低下していると判断した人です。主な業務内容としては、住宅の清掃や買い物などで、週1回の利用を限度とし、利用時間は1時間以内、利用料は150円（介護保険自己負担が2割3割の人は300円）となっています。



ワンコインまごころサービス

このサービスは、在宅の高齢者などのちょっとした困りごとを100

円で解決するサービスです。

サービスの対象となるのは、シルバー会員1人が30分程度で終わることができ、電球の購入および取り換えや庭木の水やり、買い物代行、ゴミ出し、話し相手など、年齢を重ねることに不便に感じるところを気軽に相談できます。

また、サービスを利用することで、高齢者の見守りにもつながっています。

独自事業も展開

平戸市シルバー人材センターでは、発注者からの依頼以外にも独自で事業を展開しています。

平成13年度からは、植木の剪定作業で出た葉や枝をチップ化して堆肥にする剪定屑チップ化事業を行っています。作業終了後、シルバー人材



センターの作業所で葉や枝を細かく粉砕し、約半年間水かけを繰り返して発酵させます。剪定で出た葉や枝など以外は一切混ぜておらず、「葉っぱに富んだ土」ということで「富葉土」という製品名で販売しています。野菜作りや花壇の土、硬くなった畑の再生などに活用できます。

高齢化社会での役割

高齢化や人手不足が問題となっている昨今。平戸市においても、4人に1人は75歳以上という超高齢化社会を迎えようとしています。

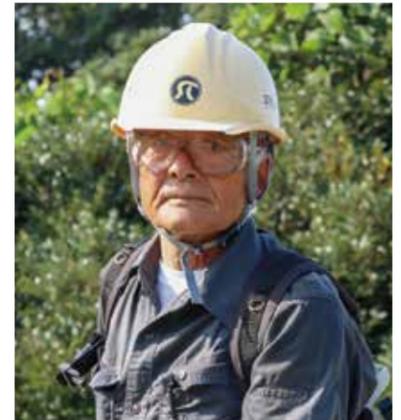
今後、さらに労働人口が減少することが予想され、働く意欲のある高齢者が年齢に関係なく能力や経験を生かして生涯現役で活躍し続けることが求められます。

そのため、今後もシルバー人材センターは「地域に根ざした活力あるシルバー人材センターを目指して」をスローガンに地域の日常生活に密着した働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実、社会貢献を推進していきます。また、「ワンコインまごころサービス」や「平戸市訪問型サービスB」を通して、在宅の高齢者などへの支援も充実させていきます。

会員の声

「迷っている人も、気軽に入会してほしい」

早田 次雄さん(大久保町)



私は、入会前まではシルバー人材センターについて詳しく知りませんでした。先輩会員からの勧誘をきっかけに会員になり、庭や畑の除草をする、除草班に所属しています。作業後にきれいになった現場を見て、利用者の皆さんから喜んでもらえることにやりがいを感じています。

未経験の人も、先輩会員が教えてくれるので、気軽に入会してほしいです。

「健康な限り、自分の経験を活かして、社会貢献したい」

小田 せつ子さん(田平町)



以前は社会福祉協議会のヘルパーをしていました。これまでの経験を活かして、人の役に立ちたいと、シルバー人材センターの会員になりました。

訪問型サービスBやワンコインまごころサービスで、主に掃除や買い物、ゴミ出しなどの仕事をしています。

訪問先での会話は健康状態の確認にもなりますが、楽しい話に元気をもらっています。

健康な限り、生涯現役で頑張りたいと思っています。

新規会員を募集しています

平戸市シルバー人材センター (☎22-3100)

新入会員を随時募集していますので、興味のある人は毎月第3火曜日に開催している入会説明会にお気軽にご参加ください。(要事前申込)

○とき 毎月第3火曜日 午後1時30分～

○ところ 平戸市シルバー人材センター



平戸市シルバー人材センター
事務局長 鴨川 祐一さん

シルバー人材センターと聞くと、除草や、木の剪定など屋外での作業をイメージする人が多いと思いますが、「平戸市訪問型サービスB」や「ワンコインまごころサービス」、他にも施設の清掃業務や派遣事業(施設管理、窓口受付)など、屋内での業務も多く行っています。

会員の中には、健康維持のために入会した人もおり、充実した生活につながっているとの声もあります。「屋外での作業は難しい」、「未経験だから周りに迷惑をかける」など、不安もあると思いますが、それぞれに合った業務をお願いしています。「ありがとう」と感謝される日々を仲間と一緒に楽しんでみて下さい。

市内に在住の人で、60歳以上で働く意欲のある人ならどなたでも入会できます。シルバー人材センターは、あなたの知識や経験を生かせる団体です。